

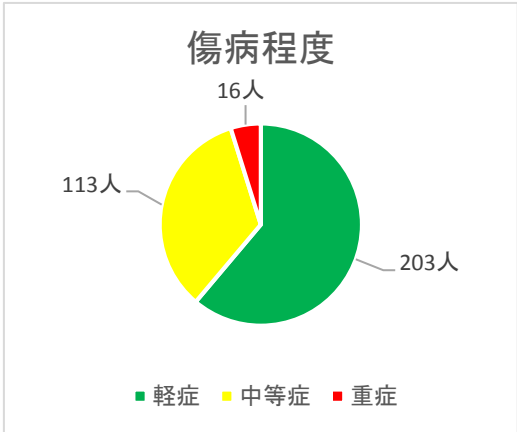
# 熱中症発生状況 統計データ ～年齢区分別詳細分析～

統計対象期間 **平成26年～平成30年(5年)**  
**6月～9月(4ヶ月)**

**高齢者** **332**件

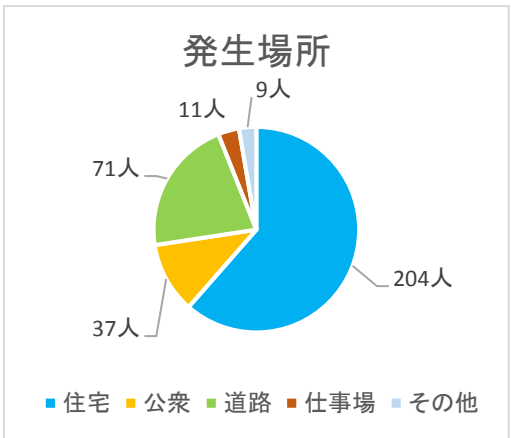
## 傷病程度

	件数	割合
軽症	203	61.1%
中等症	113	34.0%
重症	16	4.8%



## 発生場所

	件数	割合
住宅	204	61.4%
公衆	37	11.1%
道路	71	21.4%
仕事場	11	3.3%
その他	9	2.7%



### その他

\*発生場所のトップは「住宅」であり、204件でした。ついで「道路」での発生が71件と多い結果となりました。

### 高齢者について

高齢者の熱中症発生件数については全年齢層において**最多**です。また、全年齢層と比較すると軽症割合に比べ、**中等症、重症に占める割合が高い**のが特徴です。発生場所についても**屋外であるよりも住宅**での発生割合が突出して高いことも特徴です。

高齢者は身体的な体力の低下に加え、基礎疾患もが加わり**より重症化しやすい**と考えられ、また、温度に対する暑さの感覚が弱くなり、冷房が苦手な住居内が高温状態であるなど環境的リスクが関係することが発生率を上げ、重症化を招く原因と考えられます。

ご自身で、こまめな水分補給をとるように心がけるほか、家族等が環境の改善に配慮することが重要です。





